



ため池での作業安全対策

都市的地域

こうなん

香南地区自然保護組合（香川県高松市）

- 本地域は香川県高松市の中央部に位置し、水田地帯に多くのため池が存在する自然豊かな地域である。
- 活動組織の事務の効率化を図るため、平成27年度に7組織が合併して、土地改良区に事務作業を委託した。
- ため池の堤防に小段（足場）を設置する等、作業の安全対策に力を入れている。
- 本制度を活用したことで、ため池に足を運ぶ回数が増え、破損箇所の早期発見に繋がっている。

【地区概要】

- ・取組面積 368ha（田314ha、畑54ha）
 - ・資源量 開水路36km、農道30km
ため池34箇所
 - ・主な構成員
農業者、自治会、土地改良区等
 - ・交付金 約26.5百万円（R1）
- （農地維持支払
資源向上支払（共同・長寿命化））

活動前の状況や課題

- ため池数が多いことに加え、農業者の減少により、維持管理や労力の確保に苦労していた。
- 農業者の高齢化に伴い作業時の安全対策が課題になっていた。
- 自治会ごとに「道直し」という地域住民総出で農道の修繕を行う行事があったが、舗装率の向上もあり、近年は行われなくなったことで集落のコミュニティ機能が低下。



音谷池



道直し

取組内容

- 非農業者にも集会での声かけ、チラシでの案内をこまめに行い、労力を確保し、ため池の草刈りや池干しを実施。
- ため池法面の形状確保、雑草繁茂の抑制のため、カバープランツを植栽。
- 急な斜面でも安全に草刈り活動が実施できるようにため池の堤防に小段（足場）を設置。
- 安全対策の一環として、ため池周辺に危険を知らせる看板を設置。
- 更に、非農業者にも声をかけ、農道の補修作業や景観形成活動を実施。



ため池法面での小段設置



ため池法面に設置した小段



池干し時の取水点検



ため池周辺に設置した看板

取組の効果

- 非農業者への積極的な声かけやチラシでの案内で活動の参加を促し、労力の確保に繋がった。
- カバープランツの植栽により、草刈りの省力化が図られた。
- ため池に足を運ぶ回数が増えたことで、損傷箇所を早期発見することができ、被害を最小限にすることができた。
- ため池の堤防への小段の設置やため池周辺への看板の設置等、安全対策に取り組むことで、組織内での作業の安全に対する意識が高まった。
- 非農業者も生活道として農道を利用する等、農業用施設を利用していることから、活動に参加してもらったことで、本交付金の活動を通じて交流が図られた。



法面のカバープランツ



ため池付近の農道等